

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 心の支援センター

1 事業実施の成果

今年度の事業

心の支援センターでは、悩みを抱えている人や社会的な不適応に関する方々、人間関係の改善を求めている方などの精神的支援活動を行っています。

誰もが安心、安定な日々を求めています。安心感のある肯定的な人間関係は生活や明日への取り組みの意欲につながります。

- ① 問題解決や不適応を適応へと変えることが目的ではなく、
- ② 恐怖を抱く不満や不安を十分に傾聴(共感)し、苦痛をいくらかでも軽減する。
- ③ 肯定的に関わり、防衛しないで良い関係をつくり
- ④ その方の持っている力や生命力を引き出し、自己肯定感や自己信頼を築き、
- ⑤ 現実をありのままに受け入れ、未来に向けて進んでいける心のあり方を支援する。

上記基本的な視点を学びつつ、日常生活を送るうえで人間関係の構築を目指して、精神的な支援を行ないながら、必要に応じて日常生活の支援をさせていただきます。

○今年度も感染予防のため、当法人の活動(以下(4)(5))は中止させていただきました。認定カウンセラーの委託事業の(1)(2)(3)(6)の活動は継続しました。

- (1) 心の悩みや葛藤などのかかえている方とのカウンセリング
- (2) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業
- (3) 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業
- (4) 心身の健康増進などを目的としたワークショップ
- (5) 講演会・シンポジウム
- (6) カウンセラー養成(1家に一人カウンセラーを!)学習会

○インターネットにホームページをリニューアルして掲載しています。



○当法人会員の目代真之さんが学習内容を絵にして本を出版しました。解説を生山留美がしています。

○大分県カウンセリング研究協会の後藤アイ先生が主催する
令和5年度カウンセリングワークショップに当法人のメンバーも参加させていただきました。
大分県カウンセリング研究協会50周年記念誌として、当法人の前理事長でもありました佐世省吾先生
の追悼集が発行されました。
その中に当法人のメンバーも加えさせていただきました。

特定非営利活動法人心の支援センター 令和5年度定時社員総会議事録（報告）

- 1 日 時 令和5年6月14日（水）12時～12時30分（招集：5月20日～）
- 2 場 所 大分活動事務所
(大分活動事務所（大分市上田町3丁目34-101号（チュリス古国府老番館1号）)
- 3 出席者数 装出席者 31名（内 委任状 27名）
- 4 開会
 - (1) 理事長挨拶
 - (2) 議長選任の件
 - (3) 議事署名人選出の件

審議事項

第1号議案 令和5年度の事業報告書、活動決算書（別紙参照）

第2号議案 役員改選の件

役員は2年任期であり、昨年度選出しました。

再任：生山 留美、大久保 ひとみ、木下 尚恵、初手 二美代 田畑 美紀、小畑 涼子、
後藤 美仁香、近藤 和子、合田 昭子

監査：松尾栄子

第3号議案 事業計画書、活動予算書付議の件（昨年度の事業計画・活動計算書等参照）

今年度も、コロナウイルス感染予防のため、人が集まる講演会や研修会は、県をまたぐ集客
となるために中止させていただきます。

当法人の活動として、個別カウンセリングや電話相談（宇佐・大分）

情報紙発行（カウンセリング学習資料発送）は継続。

当法人ホームページ開設、修正を委託。

当法人の認定カウンセラーへの委託事業

- ・心の悩みや葛藤などがかかえている方とのカウンセリングや電話相談
グループカウンセリング、
 - ・カウンセリング学習会
 - ・障がい者の相談支援事業・児童福祉サービス
- 認定カウンセラーの活動に係る経費は委託費（会場費・消耗品等）として助成をしています。
また超過する場合は自己負担とさせていただきます。

活動内容と実施報告

(1)心の悩みや葛藤などがかかえている方とのカウンセリング

1、当法人認定カウンセラーに委託しています。

①個別カウンセリングは、当法人認定カウンセラーが要請に応じて面談相談をしています。

②電話相談では、傾聴姿勢を心がけ、共感的に思いを聴かせていただきました。

・24年度から始めた大分会場の電話相談は受付担当を体制化し、現在は、5人の相談員が日替わりで電話を転送し、随時受付しています。

・当法人の登録事務所の電話でも電話相談を受け付けています。

③傾聴ボランティア

それぞれ当法人のメンバーやカウンセラーが日常生活の人間関係や仕事を通して、常に傾聴姿勢に心がけています。

今年度の相談件数 宇佐と大分電話相談対応(面談含む)：延べ約78件

*認定カウンセラーの活動等の相談件数は含んでいません。

(2)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業

(3)児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

認定カウンセラーの活動として委託しています。

＝心の支援センターよりそうを開いて3年目に突入＝

令和4年4月に相談事業所 心の支援センターよりそうを開所して3年目です。

最初の年は、社会と繋がりを持ちながらも今まで自分が培ってきた専門的な仕事を続けながら、他にも好きな事を見つけ、のんびり充実した日々を送れば良いと考えていました。

最初の2か月間はまったく仕事の依頼が来ず、「あれっ」と感じつつもしなければいけない事務的な仕事をしていました。R4年、6月に1名の方から相談を受けた後は、瞬く間に相談件数が増えて、2年経過した今は80名近くまでになり、今度はもうこれ以上増やさず、ゆとりを持った生活を考える時期に来たのではないかと非常に有難く贅沢と言ってよい感覚で毎日仕事をさせて頂いています。

2年間、充実した日々でした。

(4) 心身の健康増進などを目的としたワークショップ

(5) 講演会・シンポジウム

コロナウイルス感染等の予防のため中止にしました。

(6) 心のカウンセラー養成 (一家にひとりカウンセラーを・・・)

○認定カウンセラーに委託しています。

*当法人のカウンセラーの認定をうけて、カウンセラーへの委託事業(個別カウンセリングやグループカウンセリング、カウンセリング学習会、カウンセラー養成(傾聴講座)講座)など、社会的な貢献として、当法人の方針を理解し、精神的な支援活動を実践している会員

・大分県内で大分市活動事務所や、宇佐市登録事務所で学習会開催。

・長崎県(東彼杵郡)

・福岡県(北九州市)山口県(下関市)などでも学習会を開催しています。

当法人では、活動支援事業として活動の一部を助成しています。

支援活動を実践している会員（活動グループ含む）に対して、その活動費用の一部（会場費や資料印刷消耗品など）を助成しました。

・助成対象者：認定カウンセラー：生山留美、木下尚恵、大久保ひとみ

当法人では、精神的支援やカウンセリング・電話相談などの活動を継続しています。そのためにも資格はあくまでもクライアントからいただきなさいという方針を忘れずに、これまでの学習と自己研鑽を継続しています。

7、カウンセリング情報誌発行（別紙添付）

① R5年9月発行：（会員の原稿配布）

② R6年3月発行：初心に戻って学ぶために、学習会資料等送付

その他

・一般財団法人日本カウンセリング・センターに所属されていた、末武 康弘先生主催で”立春の集い（第2回）”が Zoom ミーティングで、R6年2月3日（土）17時30分～19時30分開催されました。当法人からも参加しました。記念講演諸富全彦「ロジャースをめぐって考えること」小林智氏「”訪れ“ということ—友田不二男の二つの個人的体験を手掛かりとして」をテーマに2人の講師のお話がありました。

・大分県カウンセリング研究協会の事務局後藤アイ先生主催のワークショップが、令和5年9月28日（金曜日）～11月1日（日曜日）大分市にある宿泊施設宇曾山荘で行われました。

当法人から5名の方の参加がありました。

・佐世省吾先生が、令和3年2月21日、91歳にてお亡くなりになりましたが、大分県カウンセリング研究協会50周年記念誌として、事務局後藤アイ先生やご縁ある方々寄稿で追悼集が発行されました。

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 心の支援センター

2 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業) 具体的な実施状況別紙添付

定款の事業名	事業内容	(A) 実施日時	(B) 実施場所	(C) 従業の人数 世話人	(D) 受益予定者の 範囲 (E) 人数	支出額 (円)
① カウンセリング事業	<p>悩みを抱えている方の相談を受け付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料（電話）相談 ・個別相談（カウンセラーに委託） ・傾聴ボランティア（認定カウンセラーに委託） <p>・エンカウンターグループで思いや悩みを話し合いながら精神的な支援や居場所づくりをする（認定カウンセラーに活動委託）</p>	<p>随時 （カウンセラーの対応）</p> <p>毎日 10:00～17:00</p> <p>随時</p> <p>・認定カウンセラーの活動開催日：長崎、山口、大分、小倉等の会場の開催日 （コロナウイルス感染予防のため中止の会場あり。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宇佐登録事務所 ・大分活動事務所 ・カウンセラー活動会場：宇佐、大分、長崎、山口、 ・宇佐登録事務所 ・大分活動事務所 ・北九州ムーブ ・長崎（彼杵） ・山口（児童館） 	<p>宇佐 5名 大分 4名 山口 1名 長崎 3名</p> <p>カウンセラー 5名</p>	<p>(D) 青少年と家族・一般 (E) 延べ相談件数約 97件 (内：宇佐 94件、大分 25件、その他カウンセラー受け件数未定)</p> <p>(D) 悩みを抱えている一般の方不特定多数・会員 (E) 宇佐：月 7回 3～5名 各会場：毎週 1～3回 各 3～6名</p>	103,167円
② 障害者の相談支援事業	<p>認定カウンセラーに委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者等・障害児の保護者、又は障害者の介護を行う者からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言を行う。 	・	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人の事務所 ・相談者の自宅や介護者の事業所 	相談支援専門員（カウンセラー）1名	<p>(D) 障害者等・障害児の保護者、又は障害者の介護を行う者 (E) 80名</p>	0円

③児童福祉サービス	認定カウンセラーに委託 ・必要に応じて情報の提供・助言 ・福祉サービスの利用援助 ・専門機関の紹介					0円
④ワークショップ事業	森林環境を利用した心を育てる体験学習として、1泊2日の宿泊を行い、自然観賞やふれあいの機会を持つ。 今年度はコロナウイルス感染予防のため中止。	(今年度は、(株)大分県カウンセリング研究協会事務局主催のワークショップ:11月21~23日に希望者が参加した。	宇曾山荘	2名	(D) 当法人会員等 (E) 2名	0円
⑤講演会・シンポジウム	・カウンセリング講演会 ・子育て支援講座 ・カウンセリング専門研修 今年度はコロナウイルス感染予防のため中止。					0円
⑥カウンセラー養成事業	①カウンセリング講座と体験学習による養成学習会開催 (カウンセラーに委託) ②認定カウンセラーの活動経費(個別カウンセリング・グループカウンセリング、カウンセラー養成事業の経費の一部)を助成	毎月20回 毎月8回 活動者(3名)それぞれの活動日時	・宇佐会場・大分会場・中津社協・竹田会場・小倉(ムーブ)・長崎会場 ・山口会場 (児童館、勤労福祉会館) 宇佐:活動会場(5か所) 長崎会場 山口会場	3名	(D) カウンセラー資格認定希望者 (E)30名 心理カウンセラー今年度認定者0名 (D) 活動しているカウンセラー (E)3名	68,700円

活動した事業の状況を記入してください。定期的に行っている場合は、概要を記入してください。

法人名：特定非営利活動法人 心の支援センター
 活動計算書

令和5年4月1日より令和6年3月31日まで
 (単位：円)

科目	金額	合計
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	227,900	
賛助会員受取会費	12,000	
入会金	5,000	
		244,900
2. 受取寄付金		
受取寄付金	15,000	
受取助成金	0	
		15,000
3. 事業収益		
自主事業収益		
事業収益計		0
4. その他収益		
受取利息	0	
その他収益計		0
経常収益計		259,900
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	20,000	
人件費計		20,000
(2) その他経費		
貸借料	0	
会議費	0	
旅費交通費	0	
通信費	65,039	
消耗品費	3,118	
広告宣伝費	15,010	
諸謝金	0	
業務委託費	68,700	
印刷製本費	0	
雑費		
その他経費計		151,867
事業費計		171,867
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	72,000	
臨時雇賃金		
人件費計		72,000
(2) その他経費		
租税公課	0	
貸借料	0	
会議費	0	
旅費交通費	0	
通信費	3,902	
消耗品費	1,196	
広告宣伝費	0	
諸謝金	0	
印刷製本費	0	
雑費	0	
その他経費計		5,098
管理費計		77,098
経常費用計		248,965
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		50,520
当期正味財産増減額		10,935
次期繰越正味財産額		61,455

令和5年度決算は、監査の結果適正であると認めます。

令和6年4月13日

特定非営利活動法人 心の支援センター

監査

松尾 栄子



法人名：特定非営利活動法人 心の支援センター
貸借対照表

令和6年3月31日現在
 (単位：円)

科目		金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	14,746		
普通預金	46,709		
流動資産合計		61,455	
2 固定資産			
固定資産合計			
資産合計		61,455	
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計			
負債合計		0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		50,520	
当期正味財産増減額		10,935	
正味財産合計		61,455	
負債および正味財産合計		61,455	

法人名：特定非営利活動法人 心の支援センター
財 産 目 録

令和6年3月31日現在
 (単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	14,746	
当座預金	0	
普通預金		
郵貯	5,463	
大分銀行	41,246	
流動資産合計		61,455
2. 固定資産		
固定資産合計		
資産合計		61,455
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		0
正味財産		61,455

これは当法人の財産目録に相違ありません

令和6年5月8日

特定非営利活動法人 心の支援センター

理事

生山留美

